

shin koh

心耕

しん こう

2023(令和5)年

5月号

入口に 婦人会の方々が牡丹を
日障けに 若任取がクレマチスを植えました
みりてネ。

今日の行事

十二日(金) はじめの一步

午後一時より 七高僧DVD上映会

二十八日(日) 築地本願寺参拜

※築地に行きます。西光寺ではありせん。詳細は二頁を

三十一日(日) 草取り

午前八時と九時 草が増えました。お手伝いを

勉強会 社年会 休み

婦人会 十三日 午前十時

昇経会 十九日(金)

午後一時より 山路さんの優しき指導

寺カス 十三日(土) 午前十時

手話 講談 じか焼 予約制 詳細は二頁下

ヨガ 二日、十六日、三十日(火)

午後一時より 先生の元気がみえるにうつる

お朝事 毎朝六時半より

※十一日はお休み

庭作業が忙しくなってます

今年には娘と、きゅうりとメロン

を植えた。昨年、福田さん

からスーパに使いやすさという

細長の南瓜の苗をもらった

順調に育ち、花が咲いて実

がなつた。ところが、どう見

てもスッキー二なのだ。でも

葉は、南瓜なのだ。食べて

みると、それは美味しい。スッキー

二だ。私は、南瓜の苗をもらったの

たろうか、それともスッキー二なの

か、未だ謎である。 若任取

総会報告について

四月二十三日に行われた総会

資料を同封して、います。質向

あれば、向いて下さい。共に作り

あけて、いままじょう。

法座案内

十二日(金) 午後一時〜

七高僧DVD上映会前編

正信偈の後半に登場する七高僧をわかりやすく紹介しているDVDを見ます。

インドの龍樹菩薩・天親菩薩 中国の曇鸞大師・道綽禪師までを予定

二十八日(日)

築地本願寺降誕会参拝

親鸞聖人のご誕生の法要である降誕会に参拝します。場所は築地本願寺です。若住職運転のマイクロバスで行きます。予約制です。

集合：九時 解散：十七時頃 会費：二千元

締切：十二日まで 定員になりしだい締切

二十八日は、西光寺での法座はありません

＊感染症予防にご協力を

各種ご案内

・お朝事

毎朝六時半〜七時、お勤めをしています。日々のお参り、命日などにお参り下さい。

＊十一日 休

・草取り

二十一日(日) 八時〜九時 お手伝い歓迎

・写経会

十九日 十三時〜十五時 どなたでも♪

・壮年会・婦人会主催の勉強会

壮年会 休み 六月は七日 十八時〜

婦人会 十二日 十時〜

・法名(帰敬式)をご希望の方

五月二十八日に、築地本願寺で受けることができます。ご希望の方はお寺へ連絡を

・西光寺チャンネル新作動画配信

YOUTUBE チャンネルにて新作紙芝居「あわたんぼうのカンダ苦勞す」の動画を配信！西光寺チャンネルで検索か、以下QRで



・重誓偈経本配布について

浄土真宗で読む一番短いお経「重誓偈」を意訳付で配布させていただきました。お家での毎日の読経にお使い下さい。追加でほしい方はお寺まで連絡をして下さい。

みんなの寺カフェ

やさしい面白い 手話体験と講談

みんなの寺カフェとは？
現代を越えて立脚を越えて交流できる場所です
大人も子どもも関わりやすく参加して下さい
今回の体験会では「講談」は食付です

講師：桂五郎梅師
千葉県原市出身
安房郡鴨下生
心の絆に繋がる手話と劇する人物劇が得意
手話にも力を入れ、各地でやさしく面白い手話劇を演じている。
講談と手話で関わり合おうという思いがある。
そのほかにも

大人の参加も可
子どもの参加も可
お申し込みはコチラ

5月13日(土) 10:00~12:30

会費：大人 500円/子ども(18歳未満)無料 *昼食付

予約締切：5/12 *予約制
場所：西光寺 市原市根川 723-1
連絡先：0436-22-7412
＊感染症予防にご協力をお願いします。
主催：みんなの寺カフェ 共催：西光寺子ども会

・「みんなの寺カフェ」五月は手話・講談・ピザ

世代や立場を超えて集う寺カフェ
内容 手話・講談・西光寺ピザ
講師 桂五郎梅師(市原市出身)
日時 十三日(土) 十時〜十二時半
昼食付 大人五〇〇円 子ども無料
予約制 お寺まで 締切 十二日

・「はじめてのヨガ@西光寺」

開催日 第一、第三、第五火曜日
時間 十三時〜十四時半
会費 一回千円 予約不要
持ち物 ヨガマット

教授

戦場のメリークリ

スマスの楽曲を担当

された坂本龍一氏は



燕も一生懸命
蛇も一生懸命

「教授」と呼ばれていました。この「教授」という言

葉は元々仏教用語なのです。

仏教では出家をする際に、男性の出家者であるなら

ば二五〇の戒律が授けられます。その時に十人の証明

が必要でした。三師七証といっています。三師の役割は、

戒和上：出家して十年以上経過した者。新人比丘の直

接の指導者となる。羯磨阿闍梨：受戒の儀式のと

きに宣言や承認を求める羯磨文を読む。教授阿闍

梨：出家して五年以上の経過した者。受戒の儀式の際

の作法を教えたり、受戒をする資格があるか尋問をす

る。です。そのほかに七人の比丘の証明を受けて

出家者となります。日本でもこのような形の出家の形

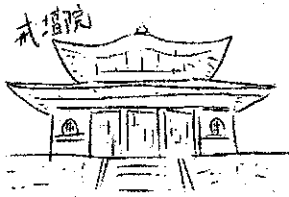
をとっていました。日本天台宗の開祖最澄が、自分

の為だけではない出家の形である大乘

の出家の形を考え、苦勞の末、大乘

戒壇が認可されます。ここから、鎌倉

新仏教の祖師たちが誕生します。



こんなところに

仏教用語

著者 仏

用教仏近
語紹介
を紹介
います。

教信沙弥

仏教用語ではないの
ですが、親鸞聖人の生
き方の参考になった方

ですのでご紹介させていただきます。

教信沙弥は、奈良時代末期から平安時代初期の方です。若

い頃は奈良で仏教を学びました。その中で、念仏の教えに導

かれ、奈良では、念仏に集中できないと播磨の加古で隠遁生

活を始めます。庵を建て垣を作り、西の方には垣を作らず、

夕日を見ては、南無阿弥陀仏を称える生活をしていました。

生計は田畑を手伝って、御札に念仏を称えてもらう。街道を

往来する旅人の荷物を運び、御札に念仏を称えてもらう、と

いう生活であったため、極貧生活であったようです。生活は

貧しかったのですが、心は阿弥陀仏のお慈悲でいっぱいであ

りましたので、豊かでした。妻もいて、子もいたそうです。

親鸞聖人は、このような生活を送っていた教信沙弥を尊敬

していました。越後へ流罪になられた時に、聖人は言われま

した。「私は、僧籍を剥奪されて、越後に流罪となりました。

僧侶ではなく、俗人の証として姓を『禿』とします。しか

し、念仏に支えられた生き方をしていますので、僧でもなく

俗でもない非僧非俗になります。」と。



願 『大経』十四

前回は四十八願の全体の思想を覗いてみました。翻訳の仕方は色々有ると思います。しかし法蔵菩薩の衆生濟度の確たる決意を私たちは信じられるのです。菩薩が掲げる願はあやふやなものであつてはならないのです。他の異訳では、「使」で自らの仏を尊敬し使役するもの、「作仏」だけのもの、「若」をごとしと断定して読ませるものなどです。状況を確定して衆生をすくう設定をした力強い「設」で始まる康僧鎧の訳は見事なものだと思つております。

願には総願と別願があります。総願は四弘誓願といい①衆生無辺誓願度②煩惱無尽誓願断③法門無量誓願学④仏道無上誓願成で全ての菩薩の共通した誓であります。①が衆生の為の利他です。残り②③④の為の自利です。究極の目的は①です。そのための手法として別願が説かれます。法蔵菩薩の場合は四十八願です。

四十八願のうち龍樹菩薩は数十種を列挙し、曇鸞大士は数個を説明し、道綽、善導、源信はほぼ十八願を、源空さんは『選択集』に数種をとり挙げてあります。私は？

一願は国に地獄餓鬼畜生は居ないという可能性の追求であります。しかし善人の仮面を被っている者もいるかもしれないし、誘惑に負けてしまふかもしれない。それが二願の

国中の人天が三惡趣に戻らないようにとの願いに成つていきます。そして三願がみんなを真金色に輝かせたいが、中には成れない者もいるし、それを強要する必要もないから四願で形が不同で好醜があればとじています。ここまでは国の中の莊嚴が謳われています。

ここから暫く人天の教化に入ります。自由自在な活動源としての六神通を取得させることに力を注ぎます。五願に過去を知る宿命通、六願に世間を見通す天眼通、七願に世間の苦樂の言葉を聞く天耳通、八願に他人の考えを知る他心通、九願に自由自在に活動できる神足通、十願に煩惱を滅尽させる智慧である漏尽通であります。六神通は手法であつて大事なことは一願の三惡趣が己の中に見いだせるかどうか、見出した者は三願の金色と鏡の対応をします。二願と四願も対で疑惑の世界です。己が過去を知り、己と世間を比較觀察し、己の事として人の話を良く聞き、己と照らして人の思いを知り、それらを速やかに繋げば、己の中の三惡趣が漏れていくのです。

まず六神通の最初に宿命通を掲げたのは一〇四願の状況に照らし合わせて、今置かれている自己を知る大切さを強調したのではないかと思ひます。仏の教化にも関わらず、疑念を起こし迷う人天も多く居るのだろうと思ひます。

住職多感

色んなことを若住職にやってもらおうようになっっているが、とうとう晨朝までまかすようになつた。正座が出来なくなつたことが一番のきつかけなのだが、それまでも声が全く揃えられなくなつていた。一人の時は余り感じないのだが、高音が全くだめになつてゐるのだ。人の声に合わせられない。自分ではしっかりやつてゐるつもりなのだが、聞いてみると全く外れてゐるのだ。足元の不安もあり、若住職に席を譲ることになつた。

いま、京都では親鸞聖人の御誕生八百五十年と浄土真宗立教開宗八百年とを合わせた法要が勤められており千葉組からも約四百人が二日に分かれてお参りする。西光寺からお参りする予定ではあつたが私の体の変調で団体で動くことが難しくなつてしまつたので取り止めてしまつた。申し訳な

く思う。ただ個人参拝は出来るのでおまいりしてほしい。その折には、京都国立博物館で親鸞展をやつていたのでぜひ足を運んでほしい。そして熊皮の御影と呼ばれてゐる聖人の絵姿を見てきてほしい。めつたに見られるものではないから是非。西本願寺から真西。七条通りが東山通りに行き当たる手前、三十三間堂前にあります。広い所ですから迷子になることはまずありません。

西光寺前の水田に水が張られて三週間足らず、もう田植えも済んでしまつた。例年より一月以上も早い。雉もびっくりしてあげ道を右に左にうろろするばかりで、ケントと鳴きもしない。季節の流れが変わつてしまつてゐる。けれど変わらぬものがある。どこに人は安心していけばよいのかという世界である。このことばかりを示し続けてきたのがお念仏である。ナンマンダブナムダブ、決して忘れぬように。

六月の行事

十二日 常例法座

二十三日・二十四日・二十五日

永代経法座

写経会、勉強会 いつもどおり

草刈り 十八日 御加勢

仏具の お磨き 二十一日 お願ひ します

御晨朝 毎朝六時半より

発行

浄土真宗本願寺派 (西)

西光寺

〒二九〇〇〇二四

千葉県市原市根田

七三二一

TEL. 0436-22-7412

FAX. 0436-24-1652

HP. <https://www.saikohji.net>

MAIL saikohji@saikohji.net